
2011年3月期 決算説明会

国際石油開発帝石株式会社

2011年(平成23年)5月12日

- 2011年3月期 決算説明
- 2012年3月期 業績予想
- 事業活動報告
- 今後の見通し

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報(将来予想に関する情報を含む)を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

2011年3月期 決算説明

取締役

常務執行役員

財務・経理本部長 村山昌博

2011年3月期 決算ハイライト



	10年3月期	11年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	8,404	9,430	1,026	12.2%
原油売上高	4,869	5,579	709	14.6%
天然ガス売上高(LPG含む)	3,264	3,562	298	9.1%
その他	270	289	18	6.7%
営業利益 (億円)	4,616	5,297	680	14.7%
経常利益 (億円)	4,420	5,085	665	15.1%
純利益 (億円)	1,072	1,286	214	20.0%
1株当たり純利益 (円)	45,553.56	40,832.40	△4,721.16	△10.4%

期中平均株式数(連結)2011年3月期 3,151,894株

期中平均油価(Brent) (\$/bbl)	70.39	87.24	16.85	23.9%
期中平均為替 (¥/\$)	92.90	85.72	7円18銭円高	7.7%円高

原油売上高

	10年3月期	11年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	4,869	5,579	709	14.6%

販売量 (千bbl)	76,095	76,651	556	0.7%
海外平均単価 (\$/bbl)	68.40	84.34	15.94	23.3%
国内平均単価 (¥/kl)	41,470	49,957	8,488	20.5%
平均為替 (¥/\$)	92.66	85.56	7.10円円高	7.7%円高

地域別販売量 (千bbl)	10年3月期	11年3月期	増減	増減率
日本	208 (33千kl)	156 (25千kl)	△52 (△8千kl)	△24.9%
アジア・オセアニア	15,295	18,004	2,708	17.7%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	11,556	9,056	△2,500	△21.6%
中東・アフリカ	47,293	48,396	1,103	2.3%
米州	1,743	1,040	△703	△40.3%
合計	76,095	76,651	556	0.7%

天然ガス売上高(LPG除く)

	10年3月期	11年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	3,078	3,346	267	8.7%
販売量 (百万cf)	418,927	401,228	△17,699	△4.2%
海外生産分平均単価 (\$/千cf)	7.43	9.10	1.67	22.5%
国内分平均単価 (¥/m ³)	37.05	41.73	4.68	12.6%
平均為替 (¥/\$)	92.64	85.68	6.96円円高	7.5%円高

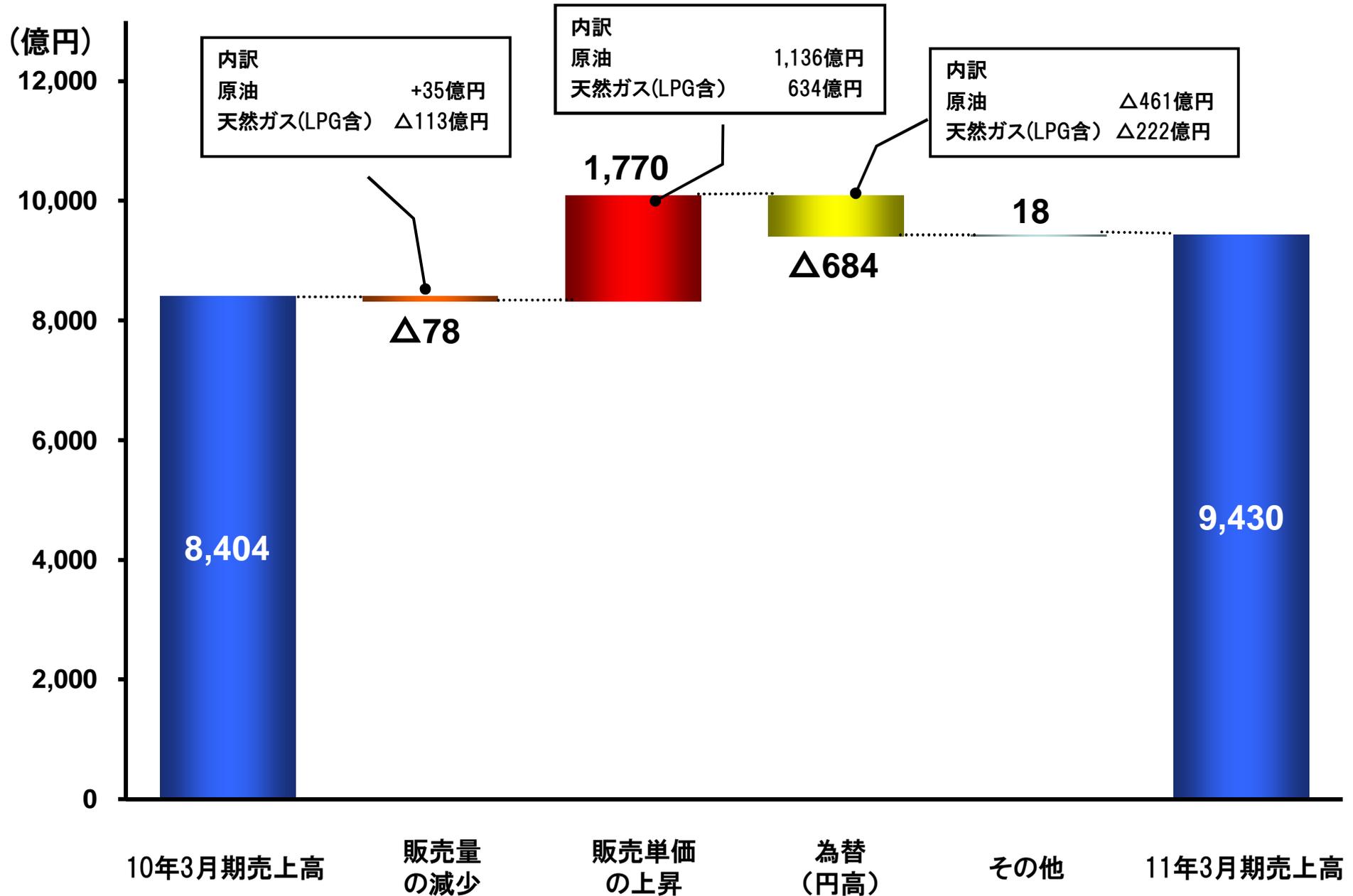
地域別販売量 (百万cf)	10年3月期	11年3月期	増減	増減率
日本	63,702 (1,707百万m ³ *)	64,253 (1,722百万m ³ *)	551 (15百万m ³ *)	0.9%
	買入量:122百万m ³ *	買入量:492百万m ³ *	371百万m ³ *	304.5%
アジア・オセアニア	324,364	306,641	△17,722	△5.5%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	30,861	30,334	△527	△1.7%
合計	418,927	401,228	△17,699	△4.2%

※ LPGの売上高は以下の通り。

	10年3月期	11年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	185	215	30	16.7%

*1m³当たり41.8605MJ

2011年3月期 売上高 増減要因分析



損益計算書

INPEX

(億円)	10年3月期	11年3月期	増減	増減率
売上高	8,404	9,430	1,026	12.2%
売上原価	2,981	3,348	366	12.3%
探鉱費	157	120	△37	△23.6%
販売費及び一般管理費	648	665	16	2.5%
営業利益	4,616	5,297	680	14.7%
営業外収益	214	311	97	45.2%
営業外費用	411	523	112	27.3%
経常利益	4,420	5,085	665	15.1%
法人税等	3,229	3,670	440	13.7%
法人税等調整額	21	16	△5	△24.3%
少数株主利益	96	111	14	15.5%
純利益	1,072	1,286	214	20.0%

原油売上：	5,579
(増減)	+709
天然ガス売上 ^(注) ：	3,562
(増減)	+298

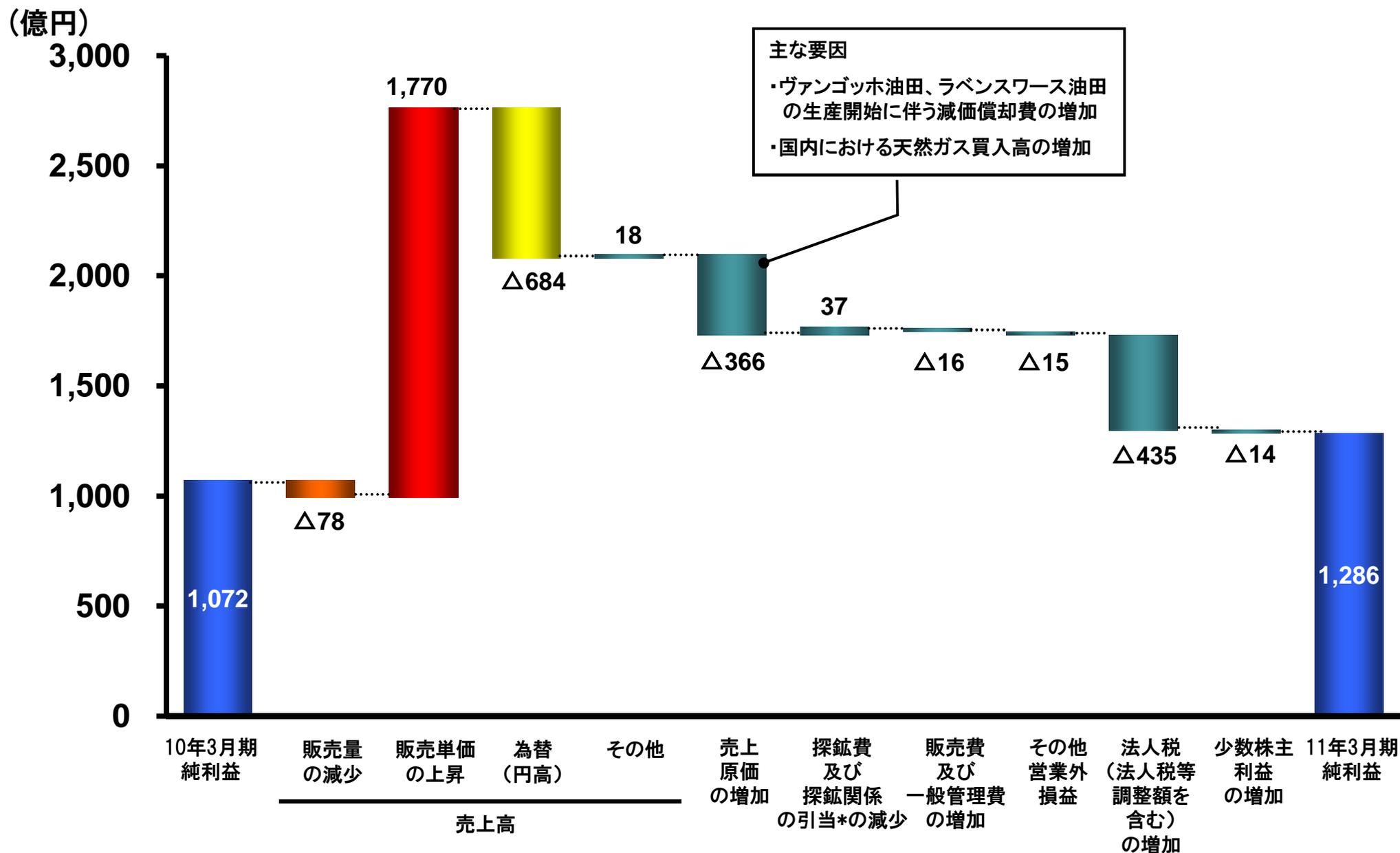
原油売上原価：	1,953
(増減)	+144
天然ガス売上原価 ^(注) ：	1,183
(増減)	+197

注) LPGを含む。

営業外収益・費用

(億円)	10年3月期	11年3月期	増減	増減率
営業外収益	214	311	97	45.2%
受取利息	43	41	△2	△5.6%
受取配当金	94	57	△37	△39.6%
持分法による投資利益	-	49	49	-
持分変動利益	-	36	36	-
権益譲渡収入	-	73	73	-
その他	76	54	△22	△28.9%
営業外費用	411	523	112	27.3%
支払利息	12	10	△2	△15.8%
持分法による投資損失	19	-	△19	△100.0%
貸倒引当金繰入額	-	91	91	-
生産物回収勘定引当金繰入額	60	114	54	90.5%
探鉱事業引当金繰入額	85	30	△55	△64.1%
探鉱投資引当金繰入額	54	-	△54	△100.0%
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	15	15	-
為替差損	132	115	△17	△13.0%
その他	46	144	98	212.8%

2011年3月期 純利益 増減要因分析



*生産物回収勘定引当金繰入額及び探鉱事業引当金繰入額

貸借対照表

(億円)	10年3月期末	11年3月期末	増減	増減率	
流動資産	4,928	4,929	0	0.0%	
有形固定資産	3,580	3,798	217	6.1%	イクシス、直江津LNG受入基地等への投資
無形固定資産	2,392	2,491	99	4.1%	
生産物回収勘定	5,146	5,343	196	3.8%	カシャガン油田等への投資
その他	5,038	11,210	6,171	122.5%	国債の購入等による増加
生産物回収勘定引当金	△948	△968	△19	2.1%	
資産合計	20,137	26,803	6,666	33.1%	
流動負債	2,279	2,547	268	11.8%	
固定負債	2,952	3,282	329	11.2%	
純資産	14,906	20,973	6,067	40.7%	公募増資による資本金・資本剰余金の増加
(うち少数株主持分)	1,031	1,004	△26	△2.5%	
負債・純資産合計	20,137	26,803	6,666	33.1%	
1株当たり純資産 (円)	589,549	546,959	△42,590	△7.2%	

キャッシュフロー

(億円)	10年3月期	11年3月期	増減	増減率
税金等調整前当期純利益	4,420	5,085	665	15.1%
減価償却費	403	542	138	34.4%
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	456	508	51	11.3%
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△149	△173	△23	15.8%
法人税等の支払額	△3,051	△3,495	△443	14.5%
その他	335	273	△61	△18.5%
営業活動によるキャッシュフロー	2,413	2,740	327	13.6%
有形固定資産の取得による支出	△875	△842	33	△3.8%
有価証券・投資有価証券の取得による支出・売却による収入(ネット)	△549	△6,135	△5,585	-
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△916	△778	137	△15.0%
その他	△176	△688	△512	289.9%
投資活動によるキャッシュフロー	△2,518	△8,445	△5,926	235.4%
財務活動によるキャッシュフロー	689	5,480	4,791	695.0%
現金及び現金同等物の期末残高	2,163	1,820	△343	△15.9%

財務指標

INPEX

純有利子負債／使用総資本(ネット)*

2010年3月期

(30.6%)

2011年3月期

(48.9%)

自己資本比率**

68.9%

74.5%

2010年3月期

2011年3月期

D/Eレシオ***

17.3%

13.7%

2010年3月期

2011年3月期

* 純有利子負債／使用総資本(ネット) = (有利子負債 - 現金及び預金 - 国債・地方債・社債等(時価のあるもの) - MMF・現先・譲渡性預金) / (純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金 - 国債・地方債・社債等(時価のあるもの) - MMF・現先・譲渡性預金)

** 自己資本比率 = (純資産 - 少数株主持分) / 総資産

*** D/Eレシオ = 有利子負債残高 / (純資産 - 少数株主持分)

2012年3月期 業績予想

取締役

常務執行役員

財務・経理本部長 村山昌博

2012年3月期 連結業績予想

前提	上期	下期	通期
Brent 油価(\$/bbl)	95.0	95.0	95.0
為替レート(円/US\$)	80.0	80.0	80.0

通期	2011年3月期(実績)	2012年3月期(予想)	増減	増減率
売上高 (億円)	9,430	10,160	729	7.7%
営業利益 (億円)	5,297	5,690	392	7.4%
経常利益 (億円)	5,085	5,500	414	8.1%
純利益 (億円)	1,286	1,300	13	1.0%

第2四半期累計

売上高 (億円)	4,329	4,970	640	14.8%
営業利益 (億円)	2,326	2,750	423	18.2%
経常利益 (億円)	2,201	2,660	458	20.8%
純利益 (億円)	506	600	93	18.5%

1株当たり配当金 (円)	第2四半期末	3,000	3,000
	期末	3,000	3,000
	年間	6,000	6,000

2012年3月期 販売量・投資額(予想)



		2011年3月期(実績)	2012年3月期(予想)	増減	増減率
販売量	原油 (千バレル) ¹	76,651	83,991	7,340	9.6%
	天然ガス (百万cf) ²	401,228	363,840	△37,388	△9.3%
	うち海外分	336,975	298,794	△38,181	△11.3%
	うち国内分	64,253 (1,722百万m ³)	65,046 (1,743百万m ³)	793 (21百万m ³)	1.2%
	LPG (千バレル) ³	3,487	2,409	△1,078	△30.9%

		2011年3月期(実績)	2012年3月期(予想)	増減	増減率
開発投資額 (億円)		1,870	2,750	880	47.1%
その他設備投資額 (億円)		212	370	158	74.5%
探鉱投資額 (億円)		325	540	215	66.2%
探鉱費および 探鉱関連引当額 ⁴ (億円)	探鉱費 120	265	探鉱費 136	193	72.8%
	探鉱関連引当額 145		探鉱関連引当額 322		
うち少数持分負担額 ⁵ (億円)		52	202	150	288.5%

- 注) 1 国内原油および石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29バレルを使用
 2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m³=37.32cfを使用
 3 国内LPG販売量の換算係数として1トン=10.5バレルを使用
 4 損益計算書の生産物回収勘定引当金繰入額+探鉱事業引当金繰入額
 5 少数株主による増資見合い分等

原油価格・為替レートのセンシティブリティ **INPEX**

■ 油価・為替変動の2012年3月期当期純利益に与える影響額(試算)

油価1ドル 上昇(下落)した場合	+20億円(△20億円)
為替(円/US\$)1円 円安(円高)になった場合	+24億円(△24億円)

(注) 原油価格(Brent)を1ドル変動させた場合、為替を1円変動させた場合の2012年3月期の当期純利益に対する影響額をそれぞれ試算したものです。

影響額は、生産量、投資額、コスト回収額などの変動により変わる可能性があり、また、油価及び為替の水準により、常に同じ影響額になるとは限らない点にご留意ください。

事業活動報告

代表取締役社長
北村俊昭

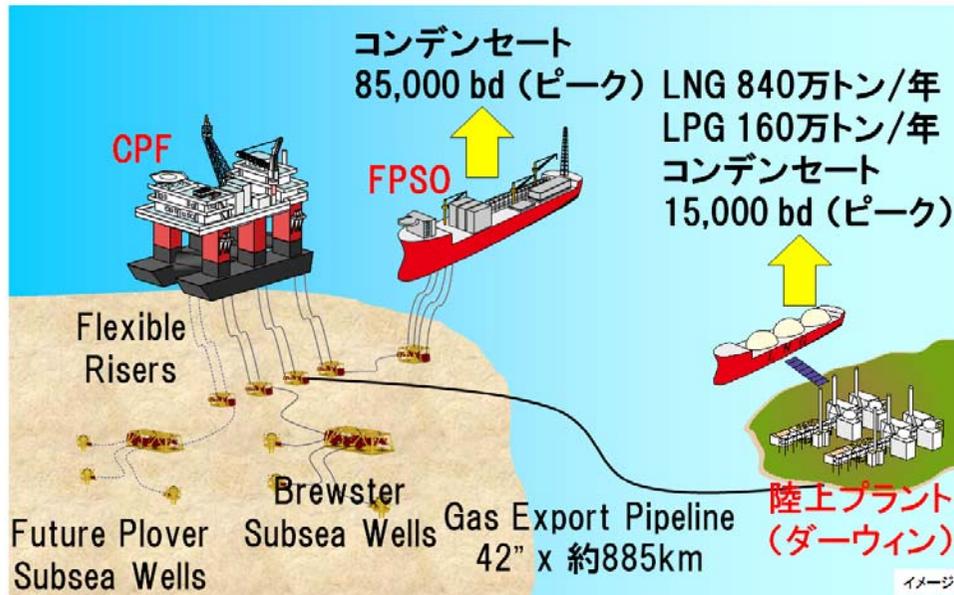
2011年3月期 事業活動総括

INPEX

- イクシス、アバディの開発準備作業、カシャガンの開発作業の推進
- ガスサプライチェーン構築に向けた進捗(直江津LNG受入基地、富山ライン)
- 新規生産・開発油ガス田の事業推進(キタン開発移行、ラベンスワース生産開始、セブク鉱区権益取得、ACG鉱区権益追加取得、ベトナム試掘成功)、新規探鉱案件の取得(メキシコ湾等)
- 更なる成長のための財務戦略(2010年8月実施の公募増資、イクシスプロジェクトのプロジェクトファイナンスの準備)
- 中東・北アフリカ政情関連:業績への影響はほぼ無し
- 東日本大震災関連:業績への直接的な影響は軽微(千葉鉱業所にて送水管に軽微な損傷(修復し生産再開済))、復興支援の実施
- ネット生産量:前期比4%増加、日量42.3万BOE(ヴァンゴッホ、ラベンスワースなど新規油田の生産開始等)
- 埋蔵量(確認+推定):前期比約6%減少、41.3億BOE

イクシスプロジェクト

INPEX



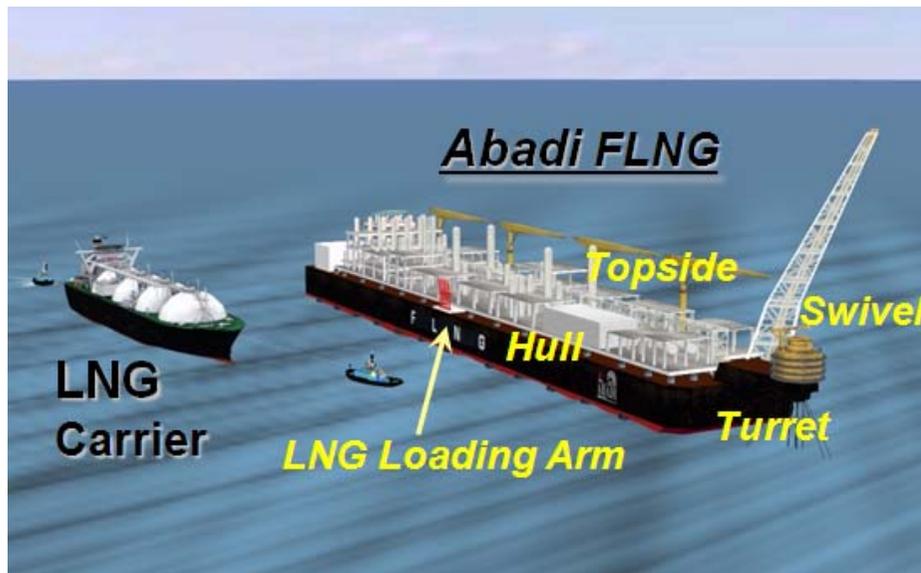
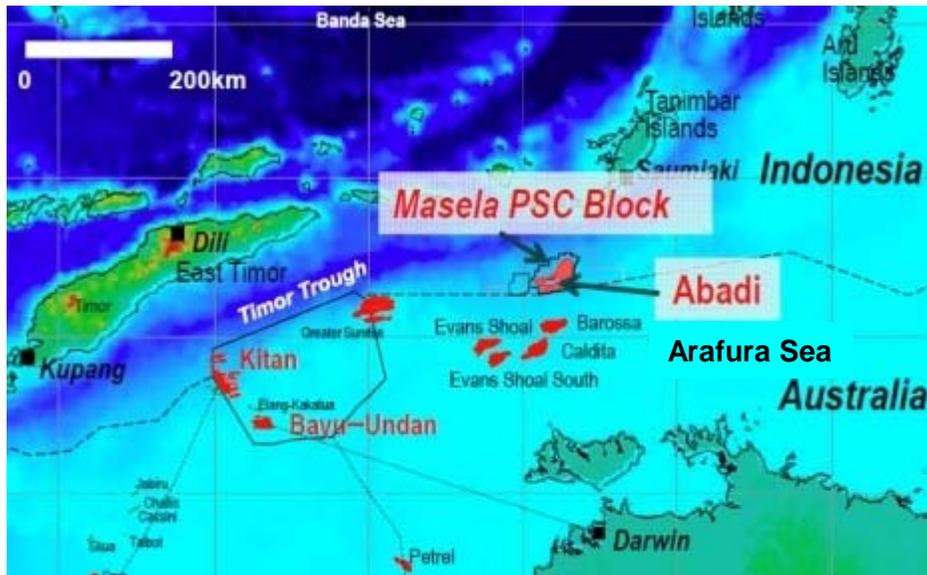
ダーウィンにおける天然ガス液化プラント建設イメージ図

生産量(予定):
 LNG年間840万トン
 LPG年間160万トン
 コンデンセート日量約10万バレル(ピーク時)
 最終投資決定(FID)予定: 2011年4Q
 生産開始予定: 2016年4Q
 権益比率: 当社76%、TOTAL 24%

- 陸上ガス液化プラントFEED作業
 エンジニアリング作業終了。EPC準備作業中
- 沖合生産施設FEED作業
 エンジニアリング作業実施中。EPC準備作業中。
- 生産ライセンスの取得手続き関連
 ✓ 2011年4月、鉱区開発計画書(FDP)を政府に提出
- Gas Export Pipelineのライセンス取得手続き関連
 ✓ 2011年4月、パイプラインライセンスオファー受諾通知を政府に提出
- 環境影響評価(EIA)関係
 ✓ 2011年4月、環境影響評価報告書(EIS)のパブリックレビュー時のコメントを踏まえた追加レポート(サプリメント)を発行。本年年中央政府よりEIAの承認取得予定
- ガスマーケティング活動
 ✓ 基本合意に向けて鋭意交渉中
- ファイナンス関係
 ✓ プロジェクトファイナンスなど、銀行借入による資金調達の準備中

アバディプロジェクト

INPEX



FLNG イメージ図

- 当社権益比率:90%(オペレーター)
2010年11月、インドネシア・バクリーグループ
企業PT EMP Energi Indonesia社(EMPI)への
10%参加権益譲渡
- 2010年12月、開発計画(POD-1)についてインド
ネシア政府の承認を取得
 - ✓ 第一次開発
 - ✓ 開発方式:Floating LNG
 - ✓ LNG生産量:年間250万トン
コンデンセート生産量:日産8,400バレル
- 現在、FEED準備作業並びに環境社会影響調
査(AMDAL)の手続きを実施中
- ガス田埋蔵量に応じた追加開発の検討を継続
- 生産分与契約に基づき10%の参加権益をイン
ドネシア政府の指定するインドネシア企業に譲
渡する方向
- 戦略的パートナーリングを検討中

■ 国内天然ガス販売の状況

- 2011年3月期:工業用、大口/直売産業用需要増により、前期比0.9%増、17.2億 m^3 *
- 2012年3月期見通し:需要増により、17.4億 m^3 *(前期比+約1%)の見通し

*1 m^3 当たり41.8605MJ



(LNGタンク、2011年1月撮影)

■ 直江津LNG受入基地の建設

- LNGタンク(2基)工事:4月末現在、外壁工事:タンクA、B共に10段中9段(38m/40m)完了
- 気化設備工事:基礎(コンクリート)杭打、および基礎工事中
- 棧橋、および接続パイプ工事を開始

■ 富山ラインの建設

- エンジニアリング終了間近、速やかなFIDに向けて最終検討段階

主な新規生産ガス田・新規案件



キタン油田(クリーンアップ/フローテスト)

- キタン油田(JPDA06-105鉦区)
 - 当社権益比率：35%
 - 2010年4月、最終開発計画の承認取得
 - 2011年下半期生産開始予定
 - ピーク生産量 4万bbl/日



ルビーガス田海上生産施設

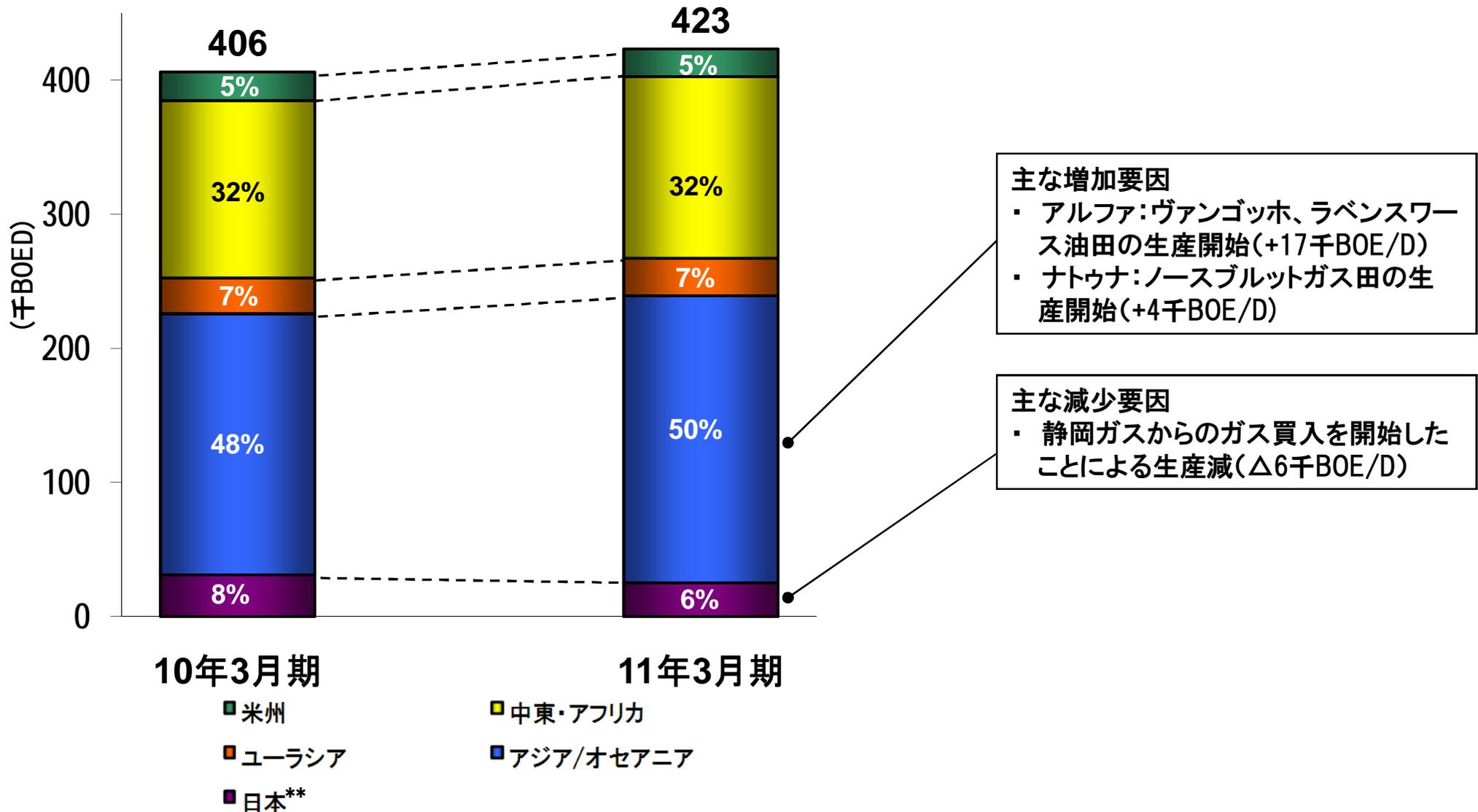
- セブク鉦区(ルビーガス田)
 - 当社権益比率：15%
 - 2010年8月、15%権益をPearl Energyから取得
 - 2013年、生産開始予定。マハカム沖鉦区の既存施設へ繋ぎ込み予定



米国メキシコ湾ウォーカー・リッジの位置

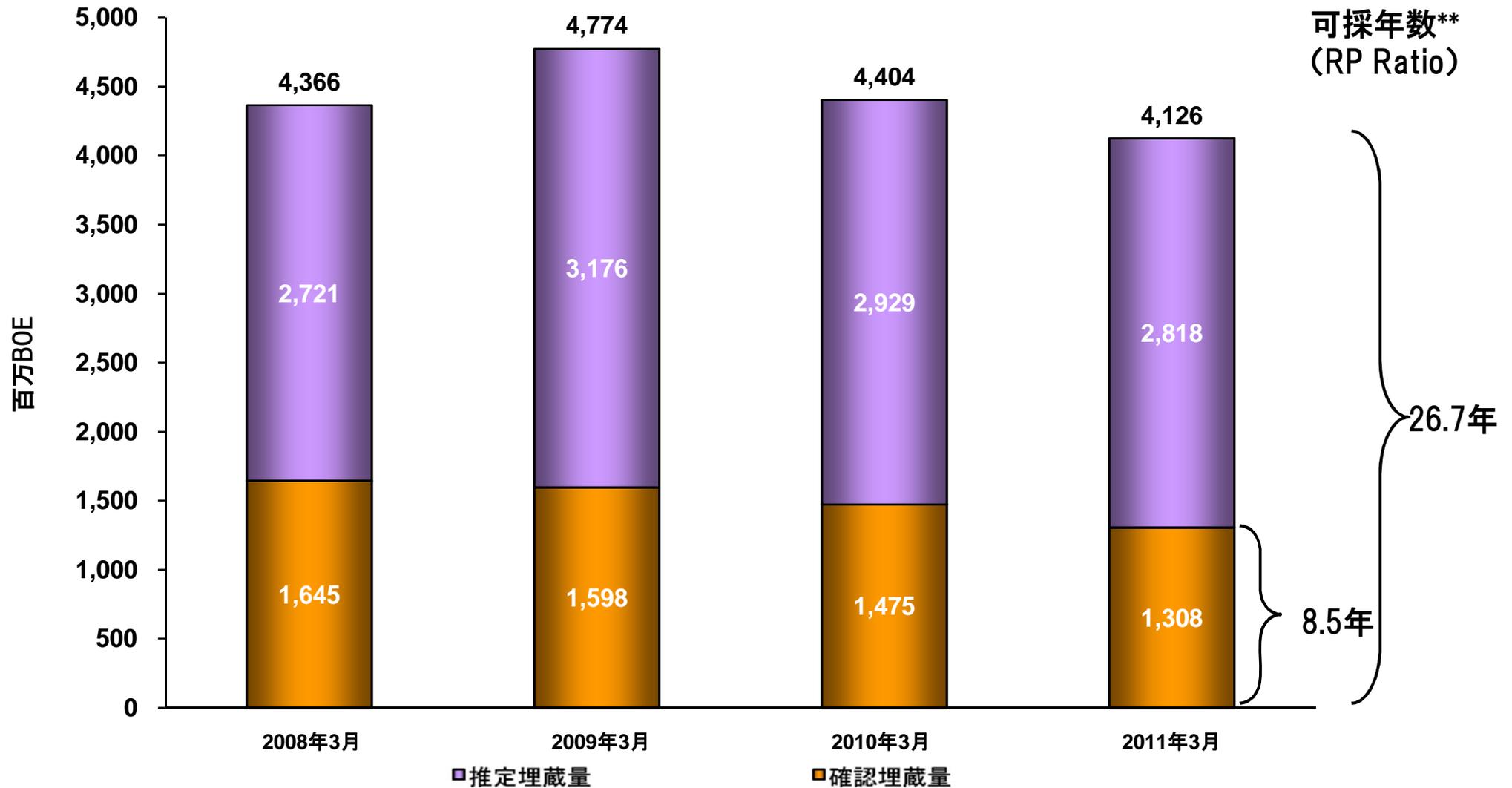
- 米国メキシコ湾ウォーカー・リッジ95/96/139/140鉦区
 - メキシコ湾大水深探鉦プロジェクト
 - 当社権益比率：15%
 - 2011年2月、15%権益をShellより取得
 - 2011年末に試掘井を掘削予定

2011年3月期 ネット生産量*



* 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しています。

確認+推定埋蔵量*の推移



* 埋蔵量は、持分法適用会社を含む当社グループの主要なプロジェクトを対象とし、今後の開発投資が巨額であり、将来の業績への影響が大きいと考えられるプロジェクトについては、DeGolyer&MacNaughton社にて、その他については自社にて、評価・算定した値(暫定値)である。確認埋蔵量は、米国証券取引委員会(SEC) 規則に従い評価・算定している。推定埋蔵量は、SPE(米国石油技術者協会)/WPC(世界石油会議)/AAPG(米国石油地質技術者協会)/SPEE(石油評価技術協会)の2007年3月に承認されたSPE-PRMSに従い評価・算定しています。

** 可採年数=2011年3月末「確認埋蔵量」または「確認埋蔵量+推定埋蔵量」/2011年3月期生産量実績 (RP Ratio: Reserve Production Ratio)

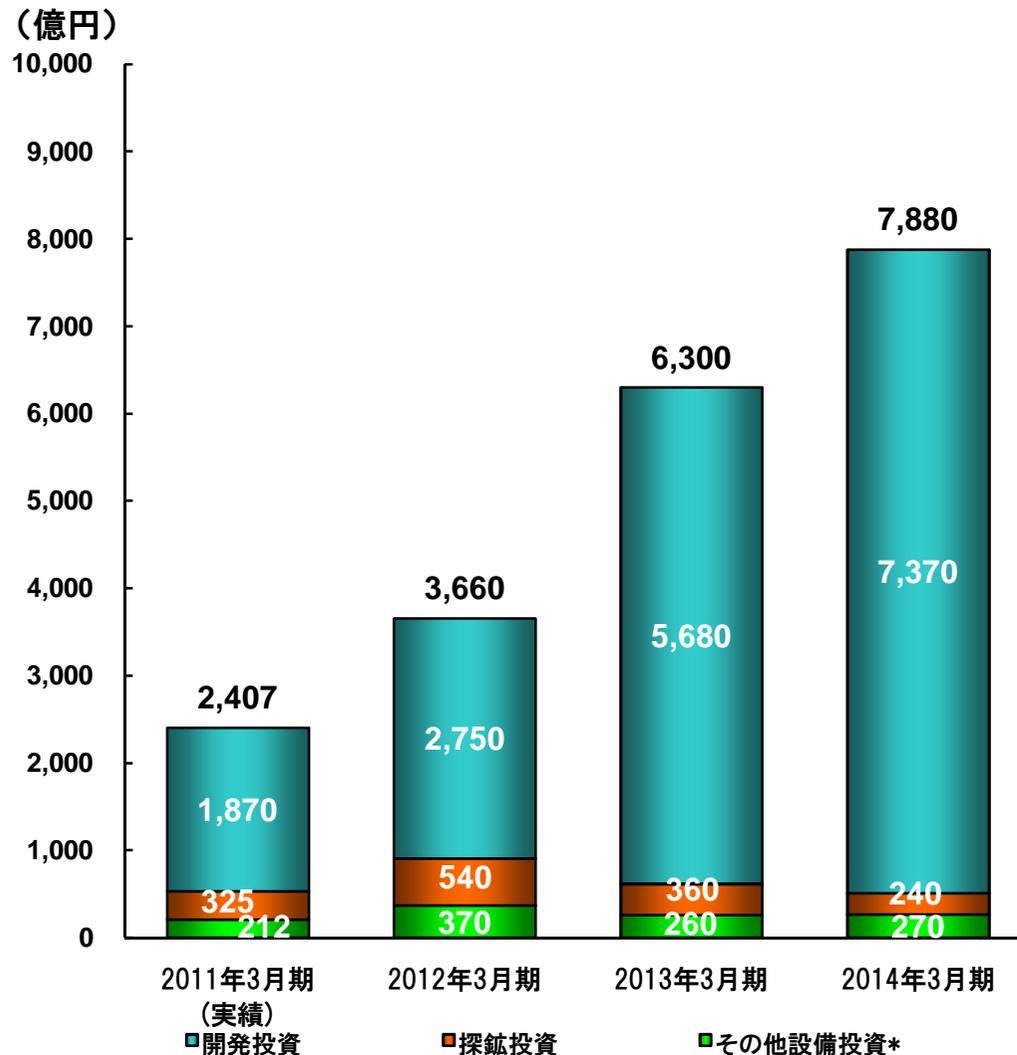
今後の見通し

代表取締役社長
北村俊昭

投資計画

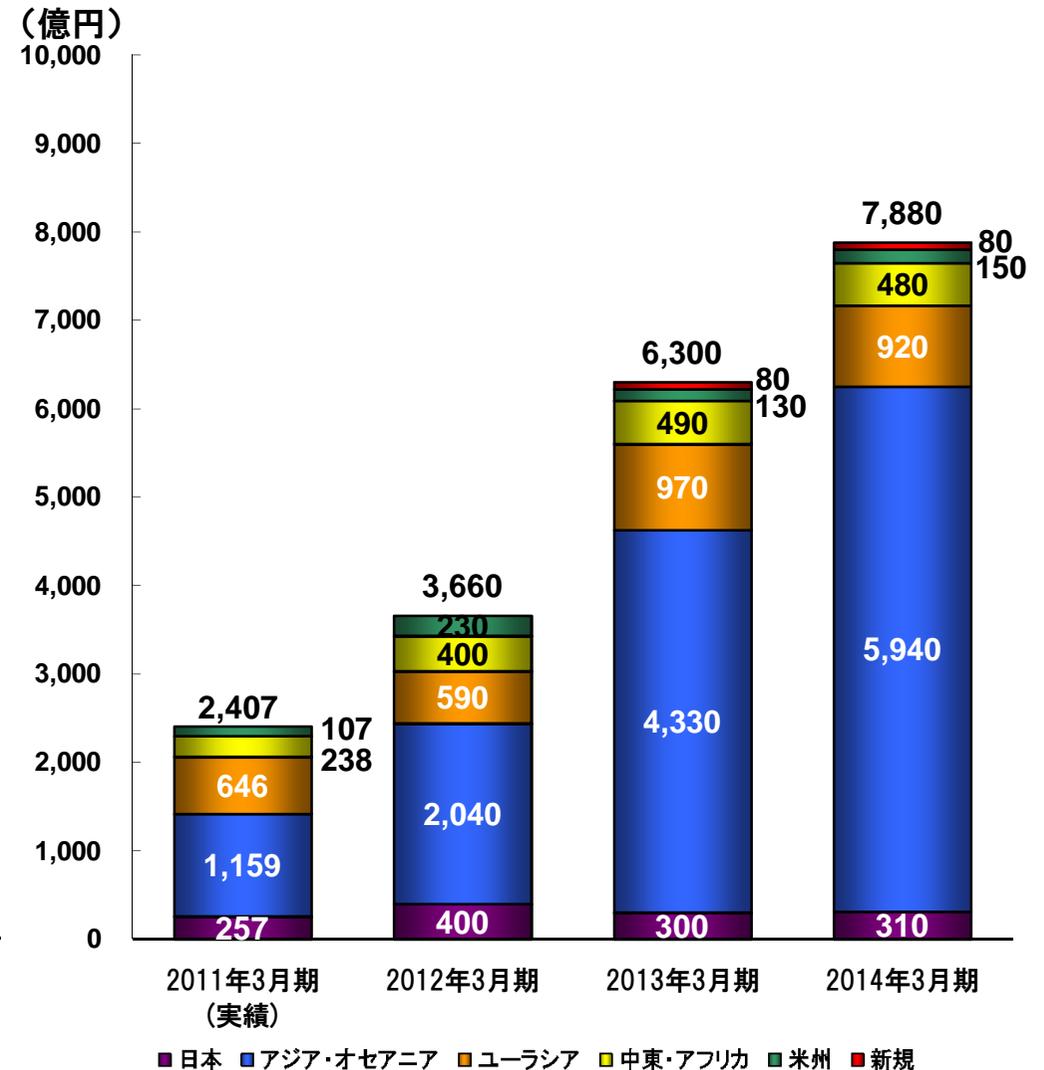


タイプ別

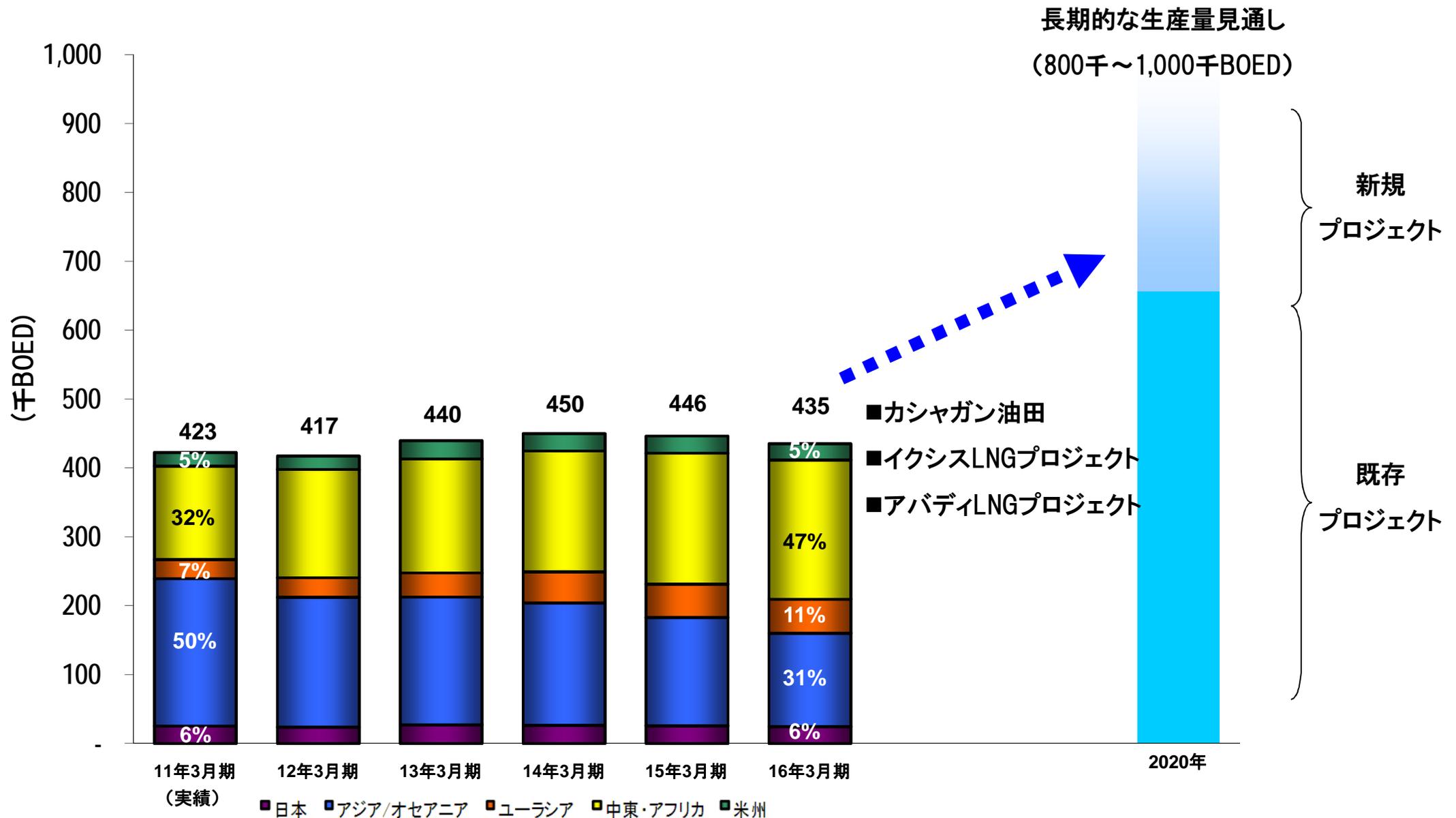


* 主に直江津LNG受入基地、国内パイプライン関連施設等への投資。

地域別



ネット生産量長期予測



注) 2012年3月期以降のネット生産量予測は、2012年3月期の業績予想と同じ油価前提を使用

* 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しています。